

分野コード：261

投稿区分：原著

論文和文タイトル：

5 日本放射線技術学会論文書式テンプレートについて

English Title :

Article Format of Japanese Society of Radiological Technology

10

15 注 1) 査読はダブルブラインドで行います。著者名や勤務先名称は論文ファイルに書き込みませんでください。本文中で勤務先名称がわかるような表現は避けてください。（例：△△病院→当院）

20 注 2) 行番号の入れ方：メニューバーから「ファイル」→「ページ設定」→「その他」→「行番号」→「行番号を追加する」にチェックしてください。

英文 Summary

Key words

25

和文要旨

30

## 緒 言

ここでは、研究の背景と今までの研究との関連、目的などを明快に述べること。

(1) テーマの背景と研究の意図、(2) 関連した論文との相違、(3) それ  
5 と本研究との関連など、論文を理解してもらううえでの概要を記述すること。

## 1. 方 法

### 1-1 方法の 1 番目

ここでは、研究に用いた機器・材料や実験方法について、読者が追試できるように具体的に記載すること。すでに広く用いられている材料、方法、あるいはそれが他の文献に詳しく記述されている場合には、「・・・の方法」とし、具体的な用具・材料の名称を記すだけでもよく、文献を示しておくこと。

### 1-2 方法の 2 番目

10 機材などの会社名は、正式名称を用いる（株式会社〇〇製・・・、〇〇株式会社製・・・など）

### 1-3 方法の 3 番目

倫理や個人情報の保護、視覚評価にあたっては、観察者の同意を得ること

## 2. 結 果

### 2-1 結果の 1

ここでは、結論を導き出すためのデータを、自分の主観を入れずに書くこと (Fig. 1).

5

### 2-2 結果の 2

実験結果の羅列ではなく、図表を用いて分かりやすくまとめること。そこから読み取れる事実を簡潔に記述すること (Table 1).

10

### 3. 考 察

ここでは、(1) 研究で得た結果から、新しい知見の整理と解明、すなわち結果の分析を行うこと。また、(2) これまでに知られている結果との関係付け、あるいは他の研究との相違点に比較検討を加えること。(3) これからから5 ら導き出した法則性や論理的な推論を加えること。

#### 4. 結 語

ここでは、結果に考察を加えた結論を手短に記述すること。したがって、研究から得られた具体的な真理の記述が中心となる。得られた結果以上のことは書かないこと。

## 謝 辞

<ここに謝辞が入る>

謝意や学会での発表については、投稿システム上のフォームに入力し、論文ファイル上には記載はしないこと。謝辞を入れる場合には、「ここに謝辞が入る」と記しておくこと。

## 10 参考文献

- 1) ○○, ○○, ○○, 他. △△△論文タイトル△△△. 日放技学誌 2011; 67(10): \*\*\*-\*\*\*.
- 2) Aaaa BC, Bbbb CD, Cccc EF, et al. \*\*\*\*Article Title\*\*\*\*. J Nucl Med 2004; 45(9): \*\*\*-\*\*\*.

15

## 図表の説明

Fig. 1 論文フォーマット例

20

Table 1 投稿論文の推移

Fig. 1 Example of article format.

25 Table 1 Transition of the numbers of submission